

“地場産品基準と共存共栄” “みんなで創る地場産品” ふるさと納税型クラウドファンディング 「#ふるさと納税3.0」新プロジェクト続々始動！

泉佐野発の新しい地場産品 Made in JAPAN の「家電」が誕生！

- ✓ 本日（8/20）12:00 より、新たに9プロジェクトの寄附募集を開始
- ✓ 市の特設サイト「さのちよく」にて先行受付、民間ポータルサイトにおいても順次受付を開始

泉佐野市（市長：千代松 大耕）は、2024年8月20日（火）12:00より、ふるさと納税型クラウドファンディング「#ふるさと納税3.0」の新たなプロジェクトの寄附募集（資金調達）を開始しました。

新たな地場産品として、ヘアドライヤーやホットプレートといった「家電」を本市内で製造するプロジェクトも立ち上がりました。



本市は北海道や九州のような1次産業の産品に恵まれた地域であるとは言えませんが、だからこそ、これまでも事業者様の創意工夫により、『熟成肉』をはじめとした数々の地場産品が生み出されてきました。

「#ふるさと納税3.0」は、この動きを加速するべく本市が発案した取り組みで、新たな地場産品の創出を目的に2020年11月から実施しており、2020年度は、約5.5億円、2021年度は約21.7億円、2022年度は約43.1億円、2023年度には約51.3億円、4年間の累計で120億円を超える資金調達に成功する等、年々注目度を増してきており、この取り組みにより株式会社ヤッホーブルーイング（代表取締役社長：井出 直行）のブルフリー誘致をはじめ、多くの新たな地場産品を創るプロジェクトの事業化に成功しています。

また、2024年4月に開催された説明会には、50社（約70名）を超える参加をいただきました。この取り組みは、企業や個人事業主等からご注目いただいているだけでなく、多くの自治体や議会から当該取り組みについての視察やお問い合わせをいただいております。既に他の自治体においても同様の取り組みが実施される等、全国に広がっています。

5 年目となる 2024 年度は、補助対象経費に新たに土地取得に関する費用も加わり、ますます充実した補助金制度（地場産品創出支援事業補助金・中小企業者支援事業補助金）となりました。16 件のプロジェクトの申し出があり、第 1 弾として、本日、9 件のプロジェクトがスタートします。残りの 7 件については、準備が整い次第開始する予定です。

<#ふるさと納税 3.0 とは？>

「#ふるさと納税 3.0」は、ふるさと納税型クラウドファンディング（以下：CF）の一種で、企業（又は個人事業主等）と自治体が共同してプロジェクトを立ち上げ、ふるさと納税の寄附者による支援により、新たな地場産品を創り出す仕組みです。本取り組みは、地場産品を創出することで、新たな産業を生み出し、新たな雇用を創出し、地域の活性化を目指すものです。また、新たに創り出された地場産品をふるさと納税の返礼品として提供いただくことで寄附の増大にもつなげます。

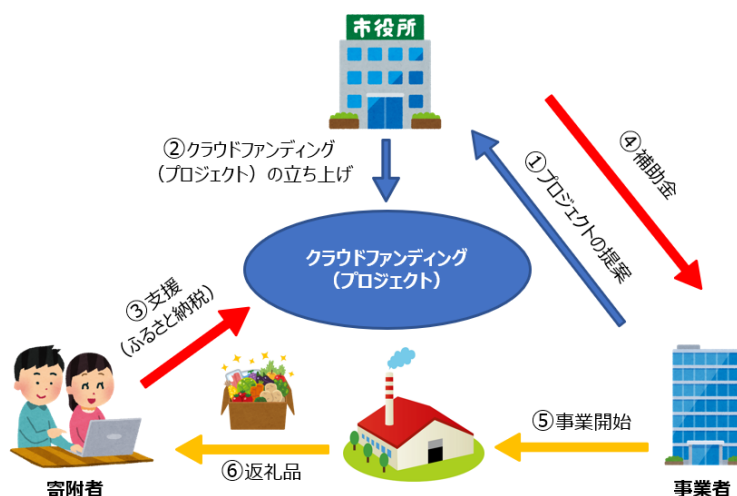
具体的には、市内で新たな地場産品を製造、加工、開発いただける事業者を募り、プロジェクト単位でふるさと納税型クラウドファンディングを実施します。寄附金が目標に達成した事業者に対して、寄附金の 40%を事業開始（イニシャルコスト）に対する補助金として交付します。

事業者は、新たな事業展開のための資金調達ができることはもちろん、新規事業としては不安なスタート時の売上げについても CF 実施時に一定の受注が確保できるほか、CF 終了後はふるさと納税に参画することで、継続して受注が見込めるというメリットがあり、企業や個人事業主のスタートアップ支援となります。

また、この取り組みは、ふるさと納税制度で定められた「地場産品基準」により、地場産品資源の豊富な自治体とそうでない自治体に格差をもたらしている問題にも対応していけるものと考えています。

<#ふるさと納税 3.0 スキーム図>

- ① 事業者が市に対し新たな地場産品を創るプロジェクトを提案
- ② 市にプロジェクトが採択されれば、CFを立ち上げる
- ③ 寄附者は応援したいプロジェクトにふるさと納税（寄附）で支援をする
- ④ 目標額を達成すれば、市から事業者に補助金が交付される
- ⑤ 事業者は、事業を開始する
- ⑥ 事業者は、プロジェクトを応援いただいた寄附者に新たに創り出した地場産品を返礼品として贈る



<なぜ、3.0なのか？>

「#ふるさと納税 3.0」は、泉佐野市が考える独自の概念です。ふるさと納税は、2014 年頃から、返礼品による「還元（お得感）」がフォーカスされ一躍ブームに発展しました。このフェーズを「ふるさと納税 1.0」と考えて

います。その後、返礼品による寄附誘引が批判されるようになり、災害復興を支援したり、地域問題解決のための資金を調達したりする GCF（ガバメントクラウドファンディング）等、ふるさと納税で「応援（支援）」する仕組みが生まれました。このフェーズを「ふるさと納税 2.0」と考えています。

しかし、ふるさと納税による応援や支援の輪は広がりつつありますが、返礼品を目的に寄附をされるほうが圧倒的に多いのが現実です。そこで、1.0の「還元」と2.0の「応援」の要素を組み合わせたハイブリッド型として考案したのが「#ふるさと納税 3.0」です。「還元」という返礼品の魅力はそのままに、企業や自治体を「応援」という要素が合わさるため、これまでの返礼品のみによる寄附誘導の仕組みでは困難であった寄附者と地方のつながりを強くすることが実現でき、より多くの共感をいただけるものと考えています。

現在、ふるさと納税は、地場産品規制の影響もあり、北海道や九州など、地場産品資源の豊富な地域に寄附が集中するという二極化の状況にあります。しかし「#ふるさと納税 3.0」は、集まった寄附金で全ての経費を賄うスキームであるため、自治体が置かれている環境にあまり左右されず実施可能な取り組みと考えています。この取り組みが全国の自治体に広がるようにとの想いを込めて「#（ハッシュタグ）」を付け加えています。

<最近の 3.0 を取り巻く状況>

総務省が掲げる“ふるさと納税の理念”を体現する取り組み「#ふるさと納税 3.0」が全国に拡大中！

昨年、令和 5 年 6 月 27 日に、総務省より同年 10 月からの指定に向けた改正の通知が発出され、告示第 5 条第 3 号に規定する「製造、加工その他の工程のうち主要な部分を行うことにより相応の付加価値が生じているもの」への該当性の判断が困難であるという理由から、「食肉の熟成」と「玄米の精白」の原材料については、返礼品の提供を行う市町村が属する都道府県内で生産されたものに限ると示されました。

本市の『熟成肉』は総務省が掲げる、「新たな地域資源の創出」「地域における新たな雇用の創出」「地域経済の活性化に大いに寄与」という、ふるさと納税制度の地場産品に対する考え方と一致するもので、大切な「地域資源」であったと考えております。地場産品基準が策定された際、「地場産品が無いのであれば創意工夫すればいい」という過去の総務大臣の発言もあり、当該基準との共存共栄を目指し、事業者は基準に適合する他地域に負けない返礼品を提供できるよう工夫を重ねてまいりましたが、当該改正により、関連する返礼品提供事業者の今年の売上は大きく減少しており、地元事業者や地域雇用に対する影響は甚大なものであります。そのような中で事業者は漬けたれ肉や味付け肉といった加工肉で返礼品提供事業を継続頂いております。

一方、昨年の基準見直しにおいて、製造や加工の程度に疑義が生じているという点で「熟成肉」や「精米」が規制されたにもかかわらず、本年 6 月 28 日に発出された総務省による次期指定（本年 10 月から翌年 9 月末までの期間）に向けた基準の見直し等の通知では、地場産品基準について、「告示第 5 条第 3 号において、区域内での工程が製品の企画立案その他の当該製品に実質的な変更を加える製造や加工でない工程である場合には、当該製品の製造業者により、当該製品の価値（価格）の過半が当該区域内で生じている旨の証明がなされた場合に限り該当するものとする。」とされ、区域内で製造や加工を一切行っていない製品（製造や加工の工程が全て海外等の区域外で行われた家電製品など）であったとしても、地場産品（返礼品等）として公に認められるという改正内容が示されました。

本市では、この「#ふるさと納税 3.0」の取り組みを推進することにより、区域内において地場産品の生産・製造・加工をしっかりと行い、地域における新たな雇用の創出、地域経済の活性化にも大いに寄与する「地域資源」を生み出す事業者を積極的に誘致、支援してまいりたいと考えております。

<各プロジェクトの概要紹介>

▶ 泉佐野発！ JAPAN ブランド強化 製造拠点新設プロジェクト

 KINUJO MAGIC GRILL abien 想像を超える製造を。 期待を超える活動を実現し続けたい！ JAPANブランド強化 製造拠点新設プロジェクト	【プロジェクト概要】 このプロジェクトでは、泉佐野市内に新規工場の建設を行い、主力商品のヘアドライヤー(KINUJO)やホットプレート(abien)を日本国内（泉佐野市）で製造します。また、新たな雇用創出を図り、地域の方々と共に"Made in Japan"の高品質な製品を効率的にお届け出来る環境を構築していきます。Made in Japan ブランドの強みを発揮し、事業の更なる成長に繋げていきたいと今回クラウドファンディングに挑戦します。是非、ご賛同、応援をよろしくお願い致します。
---	---

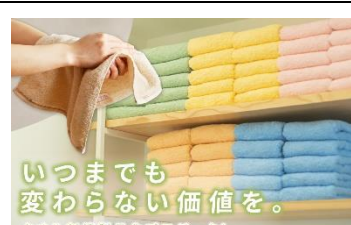
▶ 「ブランド力強化！！日本中から愛される事業者をめざせ！！」プロジェクト

 泉州元気ハラム ブランド力強化 日本中から愛される事業者をめざせ！！ プロジェクト	【プロジェクト概要】 これまで三度のクラウドファンディングに全国からのご支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。「泉州元気ハラム」が全国の皆様に認知され、かつ安定した品質を確保できたことにより、多くの皆様にリピートしていただいております。今回、ブランド力強化を目標に、レトルト食品をはじめとした独自の地場製品の開発と、今まで以上の品質向上を図ります。地元が必要とされる存在価値のある事業所を目指して、プロジェクトにチャレンジいたしますので応援を宜しくお願いいたします。
--	--

▶ もっと安心・もっと安全 お刺身品質向上プロジェクト

 もっと安心 もっと安全 お刺身品質向上 ～美味しいお刺身を、美味しくいままにお届けしたい～	【プロジェクト概要】 品質向上を目的として、殺菌設備の更新を行います。また、生産能力を大幅にアップさせるために、魚を3枚に卸す設備を追加導入致します。これにより、作業効率が向上し、より多くの商品を迅速にお届けすることが可能になります。泉佐野市ふるさと納税返礼品の提供を始めてから、今年で3年目を迎えました。これからも、「安心・安全」をモットーに掲げ、国際空港を有し、豊かな海のある泉佐野市の立地を最大限に活かした商品づくりに取り組むため、クラウドファンディングに挑戦します。
---	--

▶ いつまでも変わらない価値を。タオル刺繍製品化プロジェクト

 いつまでも 変わらない価値を。 タオル刺繍製品化プロジェクト	【プロジェクト概要】 今回、一枚から製造できる刺繍入りタオル作りにチャレンジします。自社で商品開発や EC サイトを開設することで、一枚から販売・卸ができる組織を構築します。更に付加価値を付けるべく、タオルの刺繍サービスを行い、世界に一枚のオリジナルタオルを提供致します。また、伝統産業を継承する目的として地域のものづくり教室に参加し、地域や子供達に対し、泉州タオルを触って使ってもらい国産泉州タオルの認知活動も展開します。是非、応援を宜しくお願いします！
---	---

▶ 「土から育てる」野菜づくりプロジェクト

 「土から育てる」 野菜づくり プロジェクト ～10年後もこだわりの野菜を全国へ届けたい～	【プロジェクト概要】 家族経営であるため、今後も安定した生産力を保ち、品質を維持するためには機械化促進などによる生産性向上が成功へのカギとなります。良い野菜を育てるためには、良い土作りが必要不可欠だと考えています。今回、作業の効率化を図ることができるトラクターとトラクターに使うアタッチメント機材(肥料施肥機や播種機)を新たに導入します。泉州 TONO ファームの安心・安全な野菜を泉佐野から日本全国へ届けていくため、応援を宜しくお願いいたします！
---	---

▶ サーモン加工場新設＆海産物ブランド最大化プロジェクト

 家族のみんなが 美味しいと食卓が 盛り上がる！ サーモン加工場新設＆ 海産物ブランド最大化 プロジェクト	【プロジェクト概要】 空輸された生サーモンを、生食用に加工するため、うろこ取り、三枚おろし、骨取り、皮とりができる機械を購入し、安全でスピーディーな加工が可能な加工場を建設します。このプロジェクトにより泉佐野の海産物ブランドを作り上げ、全国の食卓に、もっと美味しい海産物をお届けしたい、新鮮さと美味しさを保ったままお届けが実現できると考えています。応援を宜しくお願いいたします！
---	--

▶ 刺繍で叶うオンリーワンの泉州タオルギフトプロジェクト



【プロジェクト概要】

今回、自社での刺繍加工にチャレンジします。ネット販売で最も重視していることは、素早く正確な対応。自社加工では、お客様の銘々のオーダーに即時対応ができます。刺繍での名入れが実現できれば出産祝いでの商品展開を考えています。子育てに必要な不可欠なタオル。子供の肌に直接触れるからこそ、こだわりのタオルを使用したい。名前刺繍を施した世界に一つのタオルを贈り物に。赤ちゃんを包み込む幸せをお届けしたいと考えています。ぜひ応援よろしくお願いします！

▶ インテリアに調和する家電関連ファニチャー 泉佐野モデル事業拡大プロジェクト



【プロジェクト概要】

本プロジェクトでは、インテリアに調和するデザイン性と実用性を兼ね備えた家電関連ファニチャーを開発・提供することで居心地の良い住まいづくりに貢献していきたいと考えています。リビングやダイニング、寝室など様々な空間にフィットする家具と家電の融合製品を展開することを目指しています。ウォールライト・植物スタンド・アートディスプレイ、これらの製品を通じて、手軽に理想の住空間を実現できるようサポートし、新しい生活スタイルを提案します。応援よろしくお願いいたします。

▶ 泉佐野スマート農業推進プロジェクト 第2弾



【プロジェクト概要】

大学で学んだハウスの環境制御を活用し、開発した教授の指導の下、温度や湿度、CO2 濃度などのハウス内の環境を、それぞれで管理する装置を自作しました。今回新たに育苗ハウスを整備し、そこにも採用したいと考えています。これにより安定した生産を確立し、近隣の若者に人気の高い施設に並ぶ観光スポットとなれるよう、農業にも若者ならではのアイデアや発想を取り入れていきたいと考えています。どうか皆様ご支援よろしくお願いします！

▶ 特設サイト「さのちよく」＃ふるさと納税 3.0」プロジェクト一覧

URL: <https://furusato-izumisano.jp/3/project.php>



なお、「＃ふるさと納税 3.0」の提案は、随時受付を行っており、近日中に追加でプロジェクトを立ち上げる予定です。また、現在も複数のご提案・ご相談をお受けしており、今後も多くのプロジェクトが立ち上がる見込です。

泉佐野市では、今後も新たな仕組みをつくりだし、全ての自治体が公平な環境でふるさと納税に取り組めるよう、また制度が健全に発展していけるよう取り組んでまいります。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 ふるさと創生課 :塩見（しおみ）、中嶋（なかじま）、林（はやし）

Tel: 072-463-1212(代表) / FAX: 050-3488-2033 / Email: furusatotax@city-izumisano.com